



東北大学

平成24年3月16日

報道機関 各位

東北大学大学院国際文化研究科

韓国の作家 キム・フン（金薫）氏による講演会  
「私の人生と小説」

<概要>

韓国の代表的作家でベストセラー『刀の歌』（日本題『孤将』）や『南漢山城』を著したキム・フン（金薫）氏をお招きして、自らのたどってきた波乱の人生と文学世界について講演いただき、日本と韓国との間の歴史的な関わりや文学的關係についての韓国作家としての御関心について話していただきます。一般の方も聴講できますので、奮ってご参加ください。

1. 開催概要

日 時：平成24年3月26日（月） 17：00～19：00

場 所：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟6階大ホール

2. 講演題目 「私の人生と小説」

3. 講師紹介

金 薫（キム・フン）

1948年ソウル生まれ。高麗大学の政治外交学科、英文学科を中退。

長い新聞記者生活を経て、1995年『櫛文土器の思い出』で作家デビュー、2001年の李舜臣將軍を扱った『刀の歌』（日本題は『孤将』、蓮池薫訳、2008年）で100万部を超えるベストセラー作家となり、当時の盧武鉉大統領も愛読したと言われる。その後、『南漢山城』（2007年）、『黒山』（2011年）などの長編小説を精力的に書いている。評論家ナム・ジヌはキム・フンに対して「文章家という古風な呼び方がふさわしいわれわれの世代の数少ない文筆家の一人」と評している。

代表作である『刀の歌』（2001年）は2001年の東仁文学賞を受けた作品で、李舜臣將軍の人生をドキュメンタリー式に復元し、あるべきリーダーシップの姿や、戦闘前後の心情、身近な者たちの死、政治と権力の暴力性、死に対する思惟、文と武の葛藤、一国の生死に責任を負う將軍としての苦悩、などを描く。

その他に、1986年『韓国日報』在職中に毎週3年間連載した『文学紀行』は、該博な文学的知識と流麗な文体で優れた散文集として評価され、1999年から2000年に全国を自転車で旅行しながら綴ったエッセイ集『自転車旅行』（2000年）も生態・地理・歴史を縦横に連結させた作品として高く評価されている。

（お問い合わせ先）

東北大学大学院国際文化研究科国際地域文化論専攻

担当：佐野正人

電話番号：022-795-7589、E-mail：akane@intcul.tohoku.ac.jp



東北大学

講師 キム・フン（金薫）氏（韓国人作家）

# 小私説の人生と

公開講演会

参加自由

東北大学大学院国際文化研究科

講師紹介：

1948年ソウル生まれ。  
長い新聞記者生活を経て1995年『櫛文土器の思い出』で作家デビュー、2001年の李舜臣将軍を扱った『刀の歌』（邦題『孤将』蓮池薫訳、新潮社2008年）で100万部を超えるベストセラー作家となり、当時の盧武鉉大統領も愛読したと言われる。その後、『南漢山城』（2007）、『黒山』（2011）などの長編小説を精力的に書いている。評論家ナム・ジヌはキム・フンに対して「文章家という古風な呼び方がふさわしいわれわれの世代の数少ない文筆家の一人」と評している。

日時： 2012 3 / 26 (月)  
17:00 ~ 19:00

会場：東北大学川内北キャンパス  
マルチメディア教育研究棟6階